

このコーナーでは、九州一の安心安全なまちづくりを目指す小林市で活躍する人やその活動など、協働のまちづくりに関する情報を提供します。



上町中区防災訓練
いざという時に備えて
上町中区が初の防災訓練



西諸広域行政事務組合中央消防署の署員から消火器の使用法を学び、消火を体験する参加者

10月21日、上町中区が防災訓練を行いました。同区が訓練を行ったのは初で、区の住民約70人が参加。訓練用消火器を使って初期消火を体験したり、AEDを使って心肺蘇生法を学びました。同区の松山昌行区長は「新燃岳の火山活動も終息しておらず、どういった災害が起こるか分からない時代。いざという時に、それぞれが自分の命と財産を守れるよう今後も取り組んでいきたい」と話していました。



鹿児島市から視察
小林式協働のまちづくりを
鹿児島市の市民が学ぶ

10月11日、小林市が取り組む、協働のまちづくりを学ぼうと、鹿児島市中央・上町の住民などで構成する地域づくりワークショップ委員8人が視察に訪れました。市民活動支援センターで研修会が行われ、「協働により九州一安心安全なまち小林市」をテーマに概要の説明や意見交換を実施。同ワークショップの山崎力会長は「小林市の熱心な取り組みが分かり、今後の地域づくりの参考にしたい」と感想を話していました。



小林市協働のまちづくり推進委員会の山之口志朗委員長と熱心な意見交換が行われました



市民活動支援センターからのお知らせ
まちづくりに貢献するNPOなどの活動を支援します
「NPO等の財政・運営基盤強化事業」を活用ください



小林市市民活動支援センターでは、「平成24年度宮崎県新しい公共支援基金事業」により各種講習会と相談事業を行っています。現在、活動をしている団体やこれから活動しようと考えている人で、興味のある人は当センターまで問い合わせください。

広報こばやし10月号で、「地域の絆を育てる場づくり」としてテーマごとに取り組む市民グループを募集しました。その後、「こ

ばやし食学チーム『Boo! Hoo!! Woo!!!』を結成しました。10月27日に第1回目の市民向け講座を開催し、今後も楽しい活動を実施していく予定です。興味のある皆さん、一緒に活動してみませんか。お待ちしております。

◆ 申込・問

・小林市市民活動支援センター
(事業実施主体:NPO法人エコワールドきりしま)

TEL 27-3177 メール purumeria_mina@ecokiri.or.jp

協働により「九州一 安心安全なまち 小林市」を目指して

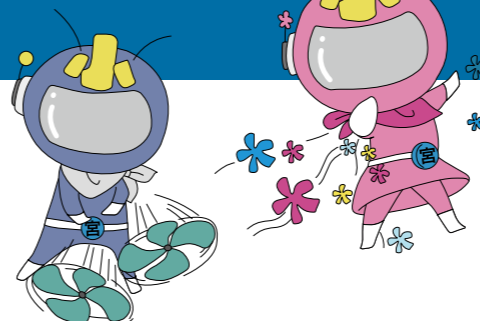


も応援。

こばやし協働

Info & News

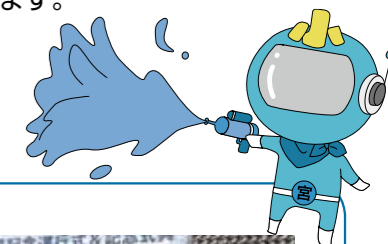
インフォ アンド ニュース



このイラストは、小林高校1年生海蔵楓寧さんが小林市の活性化を願い作成したものです。市の自然(花、星、水、螢)がモチーフになっています。



小林駅100周年祭記念運行式&記念式典
これまでの100年間へ感謝を込めて
101年目からのレールをみんなでつなごう



10月1日、小林駅が開業100周年を迎え、記念運行式と式典が開催されました。

運行式は駅構内で行われ、年齢が合わせて100歳になる家族2組(古川澄夫さん(64)・瑞穂さん(36)、永野フミ子さん(78)・叶絵さん(22))を一日駅長として任命。この日、特別運行された環霧島周遊列車と観光特急「海幸山幸」を南小の児童など、集まった多くの人で見送りました。

駅前ロータリーで行われた記念式典では、



▲吉都線未来宣言を読み上げる3人

オープニングで小林中吹奏楽部が演奏。吉村秀昭実行委員会会長が「100周年を一過性の行事とせず、鉄道と地域の活性化につながるようみんなで取り組もう」とあいさつしました。また、小林商工会議所の倉庫に壁画を描いた小林高校と、ポスターやのぼりをデザインした小林秀峰高校に感謝状を贈呈。小林市出身のシンガーソングライター大野勇太さんがイメージソングを披露した後、赤下孔洋くん(南小6年)と畠中薫乃さん(小林中3年)、橋本愛大さん(小林西高3年)が吉都線未来宣言を読み上げ、100周年を祝いました。



▲観光列車「海幸山幸」とその乗客を旗を振りながら見送る南小の子どもたち